かるまい



△+" ⊢ h No.187

平成23年11月30日

議会だより



護委員の推薦に関し意見を求める諮問1件、 の会期で開かれました。 第4回定例会は、 9月6日から14日までの9日間 提案された議案は、 人権擁 固定資

産評価委員会委員の選任に関し同意を求める案件1 教育委員会委員の任命に関し同意を求める案件

1件、条例改正2件、平成22年度会計決算の認定7 平成23年度補正予算4件の16議案でした。

9月6日の本会議では諮問1件は適任と答申、

同

成22年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委 員会を設置し、 意案2件は原案に同意しました。 審査することに決定しました。9月 残る議案13件は平

8日の一般質問では、 古舘機智男議員、大村税議員の4人が町政執行につ 茶屋隆議員、前田泰穗議員、

いてただしました。

特別委員会は3日間行われ、

この結果は9月14

日

○平成22年度一般会計・特別会計決算の状況

で可決しました。

の最終本会議で報告、すべて原案のとおり賛成多数

会 計 別		決 算 額 及 び 単 年 度 収 支 の 状 況				
	会 計 別	歳入	歳出	実質収支	前年度実質収支	単年度収支
	一般 会計	76億6,941万円	67億7,508万円	3億1,005万円	2億8,376万円	2,629万円
特別会計	国民健康保険事業勘定	14億9,355万円	13億6,666万円	1億2,688万円	6,351万円	6,337万円
	老人保健医療会計	1,376万円	1,376万円	0円	1,376万円	△1,376万円
	下水道事業会計	1億3,280万円	1億2,550万円	729万円	555万円	174万円
	介護保険会計	8,141万円	7,805万円	336万円	2,333万円	△1,997万円
	後期高齢者医療会計	7,658万円	7,402万円	256万円	199万円	57万円
	合 計	94億6,753万円	84億3,310万円	4億5,016万円	3億9,193万円	5,823万円

- ・1万円未満切り捨てのため、累計と合計は一致しません
- 一般会計の実質収支は翌年度に繰り越すべき財源が差し引かれています
- ・単年度収支は22年度実質収支から21年度実質収支を差し引いた額です

定例会

522

9月定例会で 決まったこと

条 例

正する条例 ○軽米町税条例の一部を改

理由 正する法律等の施行に伴 所要の改正を行う。 地方税法の一部を改

理由 する条例の一部を改正する に関する法律の一部改正に ○災害弔慰金の支給等に関 災害弔慰金の支給等

所要の改正を行う。

平成23年9月6日、

人権擁護委員の推薦については適任と答申、教育委員と固定資産評価委員の同意案については同意しました。

補正予算

平成23年度軽米町一般会計 補正予算(第4号)

る。 59億4441万5千円とす 72万円を追加し、総額を 補正内容は、総額に17

政 付税2151万円、災害 派遣職員給与費等負担金 1788万円など。 歳出の主なものは軽米行 歳入の主なものは地方交 区活動交付金545万

とする。 88万7千円を追加し、総 額を14億7488万7千円

保険者等医療給付費710

公務災害補償費等負担金 277万円、消防団員等 ブリッジ点検業務委託料 リストパークメモリアル 施設新築関係2581万円 1145万円、 費補助金240万円、フォ 消防団拠点

1 号) 保険特別会計補正予算(第 平成23年度軽米町国民健康

補正内容は、総額に30

歳出の主なものは退職被 歳入の主なものは繰越金。 米町そば産地確立推進事業 業費補助金400万円、 軽米町地域活動支援事

5万1千円とする。 計繰入金。 歳入の主なものは一般会

円の減。 動による人件費1697万

業特別会計補正予算 (第1 平成23年度軽米町下水道事

万円とする。 加し、総額を1億6014 総額に7290万円を追 歳出の主なものは予備費 歳入の主なものは繰越金。

7万円など。 等精算による返納金222 療養費85万円、国庫負担金 万円、退職被保険者等高額

平成23年度軽米町介護保険 特別会計補正予算(第1号)

円を減額し、総額を693 総額から1564万9千

歳出の主なものは人事異

いわて生活協同組合

会

請願者

福祉灯油を求める請願

○灯油高騰への特別対応と

請願

陳情

岩手県生活協同組合連合 岩手県消費者団体連合会 会長理事 会長 高橋克公 加藤善正

紹介議員

理事長

飯塚 明彦

要旨 本田秀一、 舘坂久人

対し意見書を提出いただき 緊急対策と福祉灯油の拡充 を守るため、原油高騰への 漁業及び中小企業の事業者 について、政府関係機関に 低所得者の暮らしと農林

事 案 猛 人権擁護委員



結実男 さん 笹 Ш (新井田) 新任

委 教 育 員



夫 さん 戸草内 勝 (向川原) 新任

固定資産評価委員



幸 雄 Ш さん (大 沢) 再任

平成23年11月●かるまい議会だより

第4回定例会歳入歳出決算等審査特別委員会 委員長報告

n した 原案のとお 可決し 主

軽米町下水道特別会計補正 号、平成23年度軽米町一般 関する議案7件、議案第10 軽米町水道事業決算の認定 22年度軽米町一般会計歳入 例1件、議案第3号、平成 る条例の一部を改正する条 災害弔慰金の支給等に関す る条例1件、議案第2号、 町税条例等の一部を改正す 特別委員会に付託されまし 予算(第1号)までの4 ら議案第13号、平成23年度 についてまでの決算認定に ら議案第9号、平成22年度 歳出決算の認定についてか た案件は議案第1号、軽米 会計補正予算(第4号)か

慎重審查、 から3階会議室において、 当局出席のもと、午前10時 日の3日間、 去る9月9日、12日、 審議いたしまし 全議員並びに 13



本定例会におきまして、

特 別委員 細谷地 長 多 門

書と平成22年度の主要施策 308ページにわたる決算 り審査結果の意見を述べて 9号までは決算の概要、健 疑を受けました。 長から受け、各委員から質 の説明書及び資料等を使用 いただきました。その後、 いただき、代表監査委員よ いて当局から資料説明して した詳細な説明を各担当課 全化判断比率等の概要につ 議案第3号から議案第

の資源の有効活用について と、それから緑の分権改革 ビの今後の充実に関するこ はごみゼロの町を目指すバ は、生ごみ処理機について 質疑がありました。当局で 賃貸料について、軽米テレ バーケーブルのNTTへの イオ方式とし、鶏糞等の町 推進事業の結果についての 部を紹介すると、2款総 委員会における質疑等の 費については光ファイ

件、合わせて13件でありま

討していくというものでし の質問がありました。答弁 挽き臼の有効利用について の施設における、そば等の くという答弁でありまし 設立して将来を目指してい の推進を図るため協議会を を多く使用し、ブランド化 産の牛を地元のエサ、穀物 立についての質問がありま 表ができる段階ではない は、まだ具体的な結果の公 は、今後とも有効利用を検 た。また、ミルみるハウス う答弁でありました。 ギー政策に期待できるとい が、将来のクリーンエネル した。当局の答弁は、軽米 ては、軽米牛のブランド確 6款農林水産業費につ

ございました。 行っているが、今後県の関 答弁は、年数回の掃除を による水質保全についての 雪谷川ダムのアオコ発生等 消に努めたいという答弁で 係機関とも連携を図って解 質問がありました。当局の 8款土木費については

険証の期限についてと、 保税滞納者に対する短期保 議案第4号の中では、国 保

という答弁でございまし 上げしないで努力していく されることから、当面は値 また、突発的な出費が想定 状況を把握しながら対応し 質疑がございました。当局 険税の引き下げについての の答弁は、滞納者の支払い ていくというものでした。

守っていかなければならな の答弁は、名前、伝統は 剣道場「雁舞館」の名称を 10款の教育費については 問がございました。また、 ございました。 だけるのではという答弁で も雁舞館の名称は使用いた いし、新しい施設において 今後の取り扱いについての どのような形で残すのか、 本的な考え方についての質 事業費の補助金の内容と基 動交付金及び地域活動支援 質疑がございました。当局 について、軽米町行政区活 議案第10号の2款総務費

多岐にわたる課について から総務課等の担当業務が チェック強化の指摘、それ 訂正等が目立つので、今後 説明資料中に誤字や数字の 総括質疑の際に、当局の

があり、当局は今後検討し たいという答弁でありまし 討してはどうかという意見 などの委員会への出席も検 は、関係職員、グループ長

立で行いました。議案第3 は全会一致で可と決しまし 第12号と議案第13号の9件 から議案第9号まで、議案 と議案第2号、 成23年度軽米町国民健康保 米町一般会計補正予算 成22年度軽米町国民健康保 会計歳入歳出決算の認定に 号、平成22年度軽米町一般 め、採決は2回に分けて起 の議案に反対があったた 議論、審議がなされ、 より可と決し、議案第1号 号)の4件は、賛成多数に 険特別会計補正予算 (第1 4号)と、議案第11号、 議案第10号、平成23年度軽 険特別会計事業勘定歳入歳 ついてと、議案第4号、 各委員からは終始活発な 決算の認定についてと、 議案第5号 (第 平 平

します

委員長報告に対し、それぞれの立場で討論をしました。

平成22年度軽米町一般会計決算の認定について 議案第3号

議案第4号 平成22年度軽米町国民健康保険特別会計決算の認定について

議案第10号 平成23年度軽米町一般会計補正予算(第4号)

議案第11号 平成23年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

対 反

山本

幸男

議員

算の4件には反対です。 民健康保険特別会計補正予 議案第11号、平成23年度国 23年度一般会計補正予算、 算認定、議案第10号、平成 国民健康保険特別会計の決 会計の決算の認定、第4号、 議案第3号、 軽米町一般

期内に収められないという 税の負担、とりわけ国保税 されてきました。ところが、 運営にあたるという説明が 現状は、私は危機的状況と きく、納税者の約1割が納 が高いという町民の声は大 険の決算の議案について、 決算は1億2600万円の 金のほとんどを取り崩して 認識しております。国保会 計も厳しく、22年度は積立 議案第4号、国民健康保

> ります。 ません。町民にとっては冷 たいものであり、

にしておけばよかったので 円の黒字を出しているな 8600万円の一般会計か す。国保会計は大変と厳し るべきと考え、減額措置を いで町民の負担の軽減を図 決めた額は途中で減額しな はないか。いったん出すと ら、初めから3000万円 おります。1億2000万 るという予算措置を行って 繰出金を3000万円にす 5600万円は返還して、 正で8600万円のうち した。ところが今回の補 らの支出を予算化いたしま から、今年度は当初予算で く、町民の負担軽減の立場 算の一部に反対でありま したことに疑問を持つもの 般会計補正予算と国民健 保険特別会計の補正予

納得できるものではあり 反対であ

続いて平成23年度軽米町

がら進めたほうがよいので すので、十分に理解を得な があるように聞いておりま 囲に桜山が入ることについ かなと考えております。 れたほうが良いのではない 方から自治組織、自治会と ては町民の中で様々ご意見 校の建築の問題で、その節 いうような考え方を奨励さ また、教育費、軽米小学 また、行政区というあり

ご賛同をお願い申し上げた でありますので、皆さんの はないかと思います。 いと思います。 以上4件については反対

を結集しながら、

自主的

主体的な活動により安心し

て暮らせる地域づくりを推

200万円ございます。 震 災等で復旧をスローガンと の国内研修費用として約 予算中、議会費の中で議員 なものかと思います。 しているこの時期、いか

を期待するものでありま 正、公平に実行されること 度の実施等も含めながら公 過しておりますので、今年 ディアであると感じます 金については大変いいアイ が、今年度はすでに半年経 地域軽米町行政活動交付

地域活動支援事業、

並びに 軽米町

など地域づくりを推進する 向上など、雑穀の生産振興 り、併せて花による景観 て、そばの作付け拡大を図 休農地の解消の一環とし 生産地確立推進事業は、

区活動交付金事業、

論したいと思います。

全議案に賛成の立場で討

今回の補正予算では行政

が、これは地域住民の英知 ります。また、軽米町地域 創設しようというものであ 町づくりの推進の一環とし ミュニティの低下が危惧さ 軽米町そば生産地確立推進 活動支援事業であります め、地域活動支援交付金を などを解消し快適で住みよ れる中で、町民との協働の 子高齢化事業による地域コ ありますが、この事業は少 活動交付金事業についてで したいとのご提案でありま 事業を新たに創設し予算化 い地域づくりを推進するた て、地域住民が地域の課題 した。まず、軽米町行政区

成



議員

り、深く感銘を受けました。 という山本町長の強い意思 険税を現状で維持できるよ が伝わってくる内容であ 結いの精神の低下を防ごう よる耕作放棄地への対策、 の低下、農業後継者不足に の減少、その結果として想 題、少子高齢化による人口 来的に軽米町が抱える課 ためのものです。 う努力していることは的確 求めることなく国民健康保 で、引き上げを被保険者に て厳しい運営状況にある中 てでありますが、依然とし 定される地域コミュニティ つぎに、国保会計につい いずれも現在、 そして将

緑の分権改革についてで

おります。

な判断であると私は考えて

ります。また、軽米町そば 進していくためのものであ

考えます。町の説明は、

でございます。また、

よかったのではないのかと

り6万円、せめてその半分 あることから、1世帯当た

の国保税の減額があっても

黒字となっており、国保加

入世帯は約2100世帯で

立場で討論をしました。

平成23年度軽米町一般会計補正予算 議案第10号 (第4号) 議案第11号 平成23年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

> 化の施策を進める上で大変 意義あるものであると思い る結果もできたことなどか てごみ排出量の減量化でき 証試験を実施し、結果とし 対 反 また、地域資源として鶏 当町の今後のごみ減量

推進するための事業として 私は考えます。 効活用や産業の育成などを 適正であり、地域資源の有 業務委託し実施したことは 株式会社軽米町産業開発に 識と経験を持つ職員のいる 査についても、専門的な知 糞を活用したエネルギー調 大変有効な事業となったと

ではあるが安値で契約し実

実証試験について、業務用 の町づくりを進めるための

町が目指すごみゼロ

については買い取りが原則

である物を短期間のリース

願いいたします。 討論といたしますが、議員 各位のご賛同をよろしくお 以上を述べて、私の賛成

古舘機智男 議員

度一般会計補正予算、同じ 会計決算の認定、平成23年 の認定と国民健康保険特別 平成22年度一般会計決算

光を注ぐ交付金などが加算 臨時交付金、 基盤整備事業、きめ細かな 万円だったものが情報通信 当初予算では53億6200 まず一般会計決算ですが、 住民の生活に

> 住民の気持ちを反映したも 細かな交付金や住民生活に だったと思いますが、きめ とを考えれば必要な予算 盤整備事業などは将来のこ され、 非常に疑問が残ります。 のだったかという面では、 光をそそぐ交付金は本当の となりました。情報通信基 最終的には76億円超

たします。

正予算の計4議案に反対い

く国民健康保険特別会計補

ております。1つは緑の分 いというべきことも感じ 般会計の支出中に無駄

> ているという実態が出てき 残業等の過酷な状況になっ 減できたと報告されました 払いましたが、本当にそれ の生ごみ処理機に4か月の うべき産業開発に委託され い、国民健康保険税を下げ 療福祉を第一に考えてほし か。町民アンケートでは医 ているのではないでしょう たちの勤務状況がサービス 自殺者数の増加や、保健師 が、それによって軽米町の 行って6億円もの財政を削 か非常に疑問です。 だけの価値、成果があった リースで月125万円を支 ております。また、事業用 てほしい、そういう意見が 町長はいろんな施策を

受け入れる態度を示しませ す。そういう方に発行され れない状況になっていま 帯に1世帯が国保を収めら しては、という私の提案も の2か月から6か月に延長 る短期保険証の期間を現行 いて、国保加入世帯の8世 んでした。住民に対して冷 次に国保会計の決算につ

> せん。 たい町政と言わざるを得ま

権改革ですが、身内ともい

ものではありません。 は310円で、利益が非常 町の資料によれば弁当価格 取り上げたいのはミルみる するようなやり方は許せる に少ない額になっていま ために住民の事業者を圧迫 ハウスの弁当の問題です。 一般会計補正予算の中で 産業開発の売り上げの

中で自殺の問題を取り上げ また、町長は政務報告の

> 町として非常事態を宣言 ます。皆さんのご賛同をお 要と考え、私はこの国保及 深刻に受け止めた予算が必 た。こうした厳しい現状を える姿勢を見せませんでし 提案しましたが、それに応 殺者対策に取り組むべきと る状況になっており、私は 現在で去年の自殺者を超え び一般会計の予算に反対し し、特別な体制を組んで自 ています。軽米町は8月末 いします。



出ていないと考えます。

算はそれを反映する結果が 圧倒的に多い中で、この決

行政区活動交付金について、地域懇談会で説明されました

長報告に対し、それぞれ

議案第3号 平成22年度軽米町一般会計決算の認定について 議案第4号 平成22年度軽米町国民健康保険特別会計決算の認定について

> 成 替

> > 中村

光夫

議員

すべての議案に賛成の立場 から賛成討論をいたしま 今議会に提案されました

単年度収支を計算してみる 非常に激しいと思います。 特別会計歳入歳出決算認定 22年度軽米町国民健康保険 下げという議論について ざいました。保険税の引き と、約1000万円程度の ほどの黒字だが、実質的な 式収支は1億2600万円 ものと存じます。特別委員 国保会計の特殊事情を勘案 療費が2か月分あるという 3月末の時点で未確定の医 について、医療費の変動が 赤字があるということでご 会での当局の説明では、 していかなければならない 特に議案第4号の、平成 保険税の会計はこの形

慎重を要すると考えます。 越決算剰余金による国保税 の引き下げについては特に 意味からも、形式収支の繰 また、国保会計は特別会

医療費は増えることがあっ 後の医療の高度化によって らないものと考えます。今 というのは慎まなければな 不足分を他会計から繰り入 という名前を使ってはいま 成討論といたします。 を図るべきものと考え、 み立てて、財政基盤の強化 決算剰余金は国保基金に積 かの不測の変動にも備え れないと思います。そのほ れをして赤字を補てんする らないと思います。安易に すが、実質は保険料と変わ ものと思います。国保は税 算で収支の均衡を図るべき 計ですので、本来は独立採 ても減ることはまず考えら 議員各位のご賛同をよろ 賛

た い

が 聞 き 算 決 審 別 委

部掲載しています。

問 業について、 情報通信基盤整備事 N T T

き臼について、専門

られないと思います。その

支をもとに検討しなけれ

国保財政の安定化は図

しくお願い申し上げます。

式ではなく単年度の実質収

の徴収率が下がって 町民税と固定資産税

る。 収率は22年度を上回ってい 常気象による農作物の価格 る雇用の場の不安定化、異 いる。経済情勢の低迷によ 22年度9:75%と低下して 23年度は7月末時点での徴 の低迷などがあげられる。 いるが、詳細は。 定資産税は21年度96.25%、 22年度は98.05%。 民税は21年度98. 徴収率について、 56 町 古

ここでは特別委員会での質疑を

する必要があると思ってい を超えた場合は対応を検討 の余裕がある。設置が90台 て買い足す準備はあるか。 ており、現在は数台 ミルみるハウスの挽 全部で90台を購入し 状況は。必要に応じ 緊急通報装置の設置

料を軽米テレビの番組充実 番組スポンサーを募集して から入る光ケーブルの使用 はどうか。 にあててはどうか。また、

は約1千万円になる NTTからの使用料

かる。スポンサーについて は検討したい。 が、ほぼ同額の維持費がか

て、

農家への戸別所得補償

産業創出事業につい 未来を切り開く6次

委託しているが、専門機関 に委託するべきだったので ギー活用調査を産業開発に 見通しは不明である。

て、鶏糞のエネル 緑の分権改革につい

のか。

国の方向性が定まっ

ておらず、

24年度の

制度は今後も継続していく

況は。 中学校統合の進捗状

はないか。

産業開発に各種の発

電事業に参加した専

をうかがっている状況であ 各学区の状況や課題 これまで学区調整委 員会を2回開催して

適切なものだったと考えて 門知識を持つ職員がおり、

は、すべての行政区に交付 域活動支援事業費補助金 新たに創設された行 政区活動交付金と地

る。地区懇談会でPRして ど予算化しており、 には十分なものと考えてい 平成23年度は今回 補正で900万円ほ 金額的

ないか。 を高める努力をすべきでは 家から意見を聞き、 利用率

産業開発に提言し、

検討していきたい。

できるのか。

茶 屋 隆 議員



答が射性物質は暫定基準値以下間の発事故による町内への影響は

物、公共施設等への影響は。事故による軽米町の農畜産質問 東日本大震災・原発

総務課長 これまで調査し

に調査される。 米については、9月中旬 米については、9月中旬 れていない。

素、セシウムともに検出さた主要野菜、果樹にはヨウ

県及び農協等で調査計画 県及び農協等で調査し、安全性 は町独自で調査し、安全性 を確認したい。 5月に滝沢村の牧草から 5月に滝沢村の牧草から

域の市町村に牧草の利用自

されていた。

査した結果、当町は暫定許

その後、市町村ごとに調

容値を下回っていた。
原発事故後に収集された
原発事故後に収集された
耐題では、町内農家で飼料
問題では、町内農家で飼料
が、暫定許容値を下回っていた
が、暫定許容値を下回っていた。

当町及び近隣での公共施当町及び近隣での公共施設の放射線量は基準値を下安全性を確かめるため、町四っているが、より正確に回っているが、より正確に回っているが、より正確に設の放射線量は基準値を下設の放射線量は基準値を下

総務課長 軽米町地域防災

計画は県との整合性を図る計画の見直しの動向を注視

問

答 経費等を考慮し検討されると考えている問 みるみるハウスの弁当価格を見直しては

質問 株式会社産業開発は、 今年度は赤字解消のために どのようなことを重点的に どのようなことを重点的に

の予定はないか。

産業振興課長 平成22年度は、各施設の売り上げが増 いウスのレストラン部門の 売り上げが増えている。こ れは新メニューの開発や行 れは新メニューの開発や行 によるものと考えている。 によるものと考えている。

ミルみるハウスの弁当事 情社製品、さるなし商品及 自社製品、さるなし商品及 で町特産品の販売強化、経 と単年度黒字に向 経営改善と単年度黒字に向 はて取り組んでいる。

環として、平成22年12月か業については経営改善の一

げしている。 がら価格を315円に値上のり組み、平成23年8月

くと考えている。

くと考えている。

質問 株式会社産業開発の

は町内業者を圧迫するのでは町内業者を圧迫するので

正業振興課長 今年度末で である。民 での委託も含め検討した である。民

る。 お当されると考えてい が利益配分等を考慮しなが のであると考えてい

答 天候不順や震災による資材不足が原因 に 軽米中のグラウンド整備が遅れた理由は

質問 軽米中学校グラウンド整備工事の完成が遅れたできなかったことによる行理由は。グラウンドを利用理由は。グラブ活動等への影響

利と判断したことから、表 教育次長 軽米中学校の完成 ラウンドは22年度内の完成 日が続いたため地盤の安定 日が続いたため地盤の安定 の表面舗装をすることが不 た、冬の時期にグラウンド た、冬の時期にグラウンド

場を利用してもらい、中型関を利用してもらい、中型関を利用してもらい、中型面舗装などの仕上げは翌年である。

活動などを行っている。 して、現在は体育やクラブ部分の部分完了検査を実施 バスで送迎を行った。



前 \blacksquare 泰 穂 議員

問 秋祭り参加団体への支援策は 地域活動支援事業補助金などを活用

いるが、町としての支援策 た使用備品も更新できずに 助で賄っている。老朽化し 金の取り崩しと町内会の補 計は財政的に厳しく、繰越 各行政区の秋祭り会

> 継続されるよう支援してま いりたい

> > 健康福祉課長

業の活用も含め支援方法を

きながら、秋祭り負担金の

て各団体のご意見をいただ

減額等を行ってきた。

今後も軽米秋祭りが維持、

町長 実行委員会等におい

れ、治療を受けている。 8名中14名ががんと診断さ

町長 本定例会に提案して 業費補助金のほか、各種事 町での予算の中から支援す 経営が厳しい。観光協会か いる軽米町地域活動支援事 るという体制が必要では。 質問 戸数が少ない団体は

が2100円、50歳以上

1600円である。

昨年度は要精密検査33

子宮頸がんワクチンの対象拡大は 摂取効果を検討しながら進めたい

ザ予防接種は55歳以上と中 としている。インフルエン

学生までを対象に2千円の

問

の費用負担の詳細は。 がん検診と予防接種

んと診断される方は年間ど

町長 水痘ワクチン、おた

ふくかぜワクチンは全額自

がん検診で要再検査、 が

補助をしている。



間

自己負担額は、胃がん検診 1300円、大腸がん検診 子宮頸がんワクチン接種の 任意接種の負担額軽減と がん検診の 検討しながら進めたい。 象拡大による接種効果等を 対象に接種予定である。対 学3年生までを対象とし、 来年度からは小学6年生を 今年度は小学6年生から中 己負担で接種されている。 子宮頸がんワクチンは、

対象拡大はできないか。

れくらいか。

と今後の見通しは。 の無料クーポン事業の内容 女性特有のがん検診

500円、肺がん検診無

600円、前立線がん検診

料、子宮がん検診1200

乳がん検診は49歳まで

がんと乳がんを対象に実施 を見ながら進めたい。 している。今後は国の動向 ン券は平成21年度から子宮 健康福祉課長 無料クーポ

設置してはどうか。 イレに警報装置とAEDを 町が管理する公共ト

から肺炎球菌ワクチンとヒ

宮頸がんワクチン、今年度

任意接種は昨年度から子

ブワクチンを全額公費負担

がら、バリアフリーや犯罪 の防止に配慮していく。 市町村の動向等を調査しな 補助事業の有無や他

受け、その方針を変換しつ つあると聞いている。現在 の自治体の強い開催要望を

と考えるが、町長の考えは。 ほうが震災復興につながる 国体は予定通り開催した

町長 今後市町村、体育協 競技団体にアンケート

> 技が開催される。 り結論が出されると聞いて 事の方針と議会の決定によ 調査を行い、最終的には知 の場合でも競技数に変更は なく、当町では軟式野球競 いる。なお、規模縮小開催

催したいと思っている。 組みとして、ぜひ国体を開 地域活性化に向けた取り

岩手国体の開催について町長の考えは 地域活性化のためにも開催したい

により、 質問 東日本大震災の発生 県では当初岩手国

体の開催延期の方針を示し ていたが、 競技団体や一部

問 公共トイレへの警報装置の設置について 調査しながら犯罪防止に配慮していく

確保を図ってはどうか。 に警報装置を設置し、安全 質問 町が管理するトイレ

町 長 市町村の動向等を調査しな 補助事業の有無や他

> 犯罪の防止に配慮してい 安全管理マニュアルの整備 がら、非常ブザーの設置や を検討し、バリアフリーや



軽米秋祭り

古 舘 機智男 議員



間 火災警報器設置への助成について すでに設置した世帯との公平性も検討

成してはどうか。 世帯の火災警報器設置に助 常備消防の充実、特に人 高齢者世帯や非課税

的体制について町長の考え

及率となっている。 町は81.8%と一番高い普 地区消防本部管内の市町村 器の普及率は、宮古、釜石 点での岩手県内の火災警報 総務課長 平成23年6月時 を除き、61%となっている。 二戸消防署管内では、当

公平性なども含め検討した は、すでに設置した方との 世帯等への助成について 高齢者世帯や非課税

> 向けて取り組んでまいりた ら、常備消防体制の充実に 策定中である。当町では二 消防施設整備等基本計画を 行政事務組合で、消防本部 戸管内市町村と連携しなが いて、現在、二戸地区広域 常備消防体制の充実につ

米分署に配置されている。 員定数115名中17名が軽 広域事務組合消防機関職

質 問 で要望していただきたい。 を広域議会、作業会議など 常備消防体制の充実

広域の中で話していきた 町 長 定員の充足に向けて

脱原発を国に訴えていく考えは 国の原子力政策大綱の見直しを注視

農畜産物に対する被害状況 質問 を伺う。 東日本大震災による

的な内容は。 独自での放射能測定の具体 子供が使用する施設の町

めていく考えはないか。 原発からの撤退を国に求

めに推移している。 ンソウ等の葉物は価格が低 格は安定している。ホウレ になっており、当地域の価 年は原発事故の影響で品薄 が下がる傾向にあるが、今 類は例年この時期には価格 トマト、ピーマン等の果菜 産業振興課長 キュウリ、

用が確認されたが、測定結 査したところ、2戸の農家 ウムが検出された問題で 果は暫定許容値を下回って で飼料及び敷料としての利 規制値を超える放射性セシ 稲わらを給与した牛肉から 原発事故後に収集された 町内の牛飼養農家を調

における平均価格は、今年 出荷された枝肉の東京市場 出荷停止解除後に初めて

> 円安となっている。 て、 4月の平均価格と比較し 1キロ当たり約500

ていく。 測定し、調査結果を公表し 県の助成制度の対象外とな ため、学校施設等のほか、 クロシーベルトを超えない るハートフルスポーツラン 施設等の安全性を確かめる ている。より正確に各学校 線量はこれを大きく下回っ いとしており、当町の放射 通り利用しても差し支えな 学校は校舎、校庭など平常 で1時間当たり3.8マイ や公園なども放射線量を 文部科学省では屋外

制や農畜産物の放射性物質 てきた。 の検査体制の充実を要望し に対して環境放射線測定体 け、岩手県町村会は国、県 震災による原発事故を受

り、今後の動向を注視して の見直しを行う予定であ 方針となる原子力政策大綱 国では原子力政策の基本

フォリストパークの 自然を生かした環境づくりに取り組む

問

町内観光施設運営に対する町長の考えは

はないか。町内観光施設の テーマを明確にするべきで 質問

町長 山林に自生している山野草 とから、花木の植栽等や、 の集客に向けた取り組みが チューリップ開花時季の後 課題となっている。このこ フォリストパークは

> 町の代表的な観光施設であ 取り組んでまいりたい。 等を活かした環境づくりに 多くの観光客が訪れる軽米 レットパークは町内外から フォリストパーク及びミ

運営について町長の考え

ある交流人口40万人を達成 と管理運営に努め、 り、軽米町のイメージアッ プにつながるよう環境整備 公約で



フォリストパーク

村 税 議員

問 震災後の畜産への支援策は 町独自の検査を予算計上した

町民への周知について伺 自の支援策を検討している の内容と情報提供の状況、 について伺う。また、町独 の支援策を、特に畜産関係 東日本大震災後の国、県 現時点での防災計画

町長 災、平成11年の水害を受け、 めてきた。 地域防災計画の見直しを進 平成10年の山林火

昨年末から正月にかけての 広報車により行ってきたが ては、情報連絡無線施設や 災害時の情報提供につい

> ど、情報の提供、収集など 携帯電話が不通となるな 放送ができず、固定電話や 長時間の停電により各地区 に多くの影響があった。 にある支局の電源が切れて 大雪による停電の際には、 こうした状況を踏まえ、

を進めている。 報が提供できる体制づくり 新するなど、停電時にも情 の支局電源バッテリーを更 活用や、情報連絡無線施設 端末機や軽米テレビなどの 本年度各戸に設置した告知 また、これまでの課題を

る対応マニュアルの見直し 検証しながら、災害に対す

> 家への周知については県、 後の動向を注視していく。 見直しを進めていきたい。 ながら、当町の防災計画の 画の見直しと歩調を合わせ を進めており、県の防災計 で全畜産農家を巡回しなが や戸別訪問により、これま 農協とともにチラシの配布 対応が始まりつつあり、今 当町においては、畜産農 国では補償問題などへの 情報提供や使用管理の

援事業を設置している。 興機構は、肉用牛肥育経営 徹底を図っている。 して肉用牛肥育経営緊急支 の安定を図ることを目的と 独立行政法人農畜産業振

支援するため、牛1頭当た り5万円を緊急支援金とし 家に対し当面の資金繰りを 畜産協会で、肉用牛肥育農 実施主体は社団法人岩手県 て交付事業対象牛の販売時 に返還するものである。 岩手県におけるこの事業

等に伴う出荷遅延により資 荷が遅れた牛を対象として 農家の経営継続を支援する ため、県単独事業として出 金繰りが悪化している肥育 岩手県でも牛の出荷制限

> 正予算を計上した。 よる放射性物質の検査にか 物の提供のため、町単独に こととなっている。町とし 販売時に支援金を返還する かる経費として本議会に補 ても、安全、安心な農畜産 援金が交付され、対象牛の 頭当たり8万円以内の支

のではないか。 各地区の避難所が不足する 質問 学校の統廃合により

じて情報提供し、自主防災 に配布し、軽米テレビを诵 防災マップを作成し各戸

意識の高揚を図るべきでは

改善センター、

公民館など

活改善センターや農業構造

討を願う。 支援を重点策として支援検 牛飼養農家の経営健全化

性を消費者、消費地にPR 努力が必要ではないか。 産者に状況を報告し、安全 の主要作物の検査をし、生 補助対象外のものも町独自 放射性物質検査を行うよう であるが、町でも国、県の し風評被害を払しょくする また、農協が中心となり

うな仕組みとなっているの

は停電等の際にも使えるよ

で、そういったものを活用

しながら町民の皆様の安全

総務課長 各地区にある生



町内飼養農家の牛舎

送を行っており、また各家 庭への告知端末の音声放送 らの情報提供として文字放 災マップの見直しをしてい ら、そこまでの避難路や防 を避難所として活用しなが 軽米テレビの中には町か

を確保してまいりたい。

内線326

議会の動き

議会は、定例会や臨時会のほか にもさまざまな活動を行ってい ます。主な動きをお知らせします。

- 8月1日 平成23年度市町村要望
 - 4 A 晴山遺族会夏季戦没者慰 霊祭
 - 4 A 音更町長、音更町議会議 長訪問対応
 - 5日 町政調査会第2回幹事会
 - 5日 議会運営委員会
 - 故平澄芳前町長葬儀 5 A
 - かるまい夏祭り 7 🖯
 - 8日 町政調査会第2回会議
 - 第2回議員全員協議会 8 🗏
 - 8 🗏 第3回議会報編集委員会
 - 議会運営委員会 11 🖯
 - 第3回軽米町議会臨時会 12日
 - 15⊟ 平成23年度軽米町成人式
 - 22日 第4回議会報編集委員会
 - 23⊟ 二戸地区広域行政事務組 合議会臨時議会
 - 25日 岩手県町村議会議長会中 央研修会(~26日まで)
 - 第25回岩手県北ゲート ボール大会
 - 第25回並岡旗争奪軽米町 28⊟ 少年剣道大会
 - 議会運営委員会 30 ⊟

- 30日 岩手情報文化研究会
- 30⊟ 全国高等学校総合体育大 会弓道競技報告会並びに 祝賀会
- 9月1日 第100回音更町、東士幌 輓曳競馬大会(~3日ま で)
 - 6 ⊟ 第4回軽米町議会定例会 (~14日まで)
 - 17⊟ 軽米秋祭り
 - 17⊟ 軽米町敬老会
 - 18_H 軽米町消防団消防演習
 - いちい荘敬老会 22 🖯
 - 27⊟ 花の里かるまい敬老会
 - 27日 岩手情報文化研究会
 - 軽米町商工会50周年記念 28⊟ 式典・祝賀会



10月2日、軽米町商工会と合同での 雫石町軽トラ市視察

- 10月2日 町政調査会・商工会との 懇談会・雫石町視察
 - 4 ⊟ カシオペア連邦議会議員 協議会役員会
 - 5日 町政調査会幹事会

とについて

- 8日 平澄芳前町長を偲ぶ会
- 9 🖯 町民体育祭
- 13⊟ 岩手北部広域環境組合議 会全員協議会
- 15日 首都圏消費者交流ツアー 懇親会
- 16⊟ 食フェスタ | Nかるまい
- 17⊟ 第3回委員長研修会
- 18⊟ 議会運営委員会
- 第5回町議会臨時会 19⊟
- 19⊟ 第3回町政調査会
- 20日 岩手県町村議会議長会臨 時総会·政務調査会 (~21日まで)
- 軽米中学校文化祭
- 晴山小学校落成式 22 🖯
- 軽米町長杯ゴルフ大会 23⊟
- 九戸郡神社総代連合会定 23 H 期総会
- 岩手北部広域環境組合議 25⊟ 会定例会
- 26日 二戸地区広域行政事務組 合議会定例会
- 27日 岩手情報文化研究会
- 27 A 北部地区町村議会議長会 臨時総会
- 28日 桂泉会創立30周年記念式 典・祝賀会
- 28⊟ 久慈地区軽米出身者の会
- 小軽米小学校学習発表会 30⊟
- 第32回軽米町文化祭開幕 式典・ステージ発表

事案件

教育委員



玲 関 向 子さん 町) 再任 (本

玲子さんを任命することに同意しまし 平成23年10月19 日 教育委員に関

向

専決処分

処分に関し議決を求めるこ 平成23年度軽米町一 補正予算 (第5号) 一般会計 の専決

万円など。

換気設備工事関係108 購入費2122万円、

第5 田 臨 時 会

10月19日議決

災災害対策支援金など。

歳出の主なものは公用

車

学校

整基金繰入金、

東日本大

を追加し、総額を60億35

総額に4106万1千

甴

12万6千円とする。

歳入の主なものは

財政

時 決まったこと

平成23年度軽米町 補正予算 (第6号) 補正予算 般

法第179号第1項の規 正予算について、 に基づき専決処分する。 災害復旧費 の 般会計算 地方自治